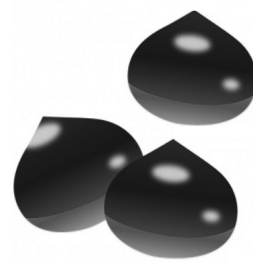


農業

令和4年10月号
会誌 No. 1695



目次

巻頭言

食料安全保障とフードセキュリティ……………松尾 元 3

論壇

農業・農村におけるグローバル連携……………宮浦 理恵 4

食用タンパク質研究会

第7回食用タンパク質研究会……………竹内 昌治 6

「食肉3.0 代替タンパク質としての培養肉の可能性と課題について」

質疑応答・討論…………… 14

表彰農家訪問

請負作業から始めた中山間地域における……………小巻 克巳 20
水稲法人経営とその多様化

—岐阜県郡上市に岩出明喜さんを訪ねて—

食を楽しむ

フィンランド人は、森のベリーでパイを焼く……………岡根谷実里 28

研究の最前線

害虫カメムシと共生細菌が協力して農薬を解毒…佐藤 由也, 菊池 義智 29

—害虫が農薬抵抗性になる新たな仕組み—

農業・農村の現場から

米の新たな加工品「米ドレッシング」の開発……………飯尾 美玲 40
—農林大学校生の挑戦—

世界の農業は今

フィンランド酪農の構造変化と経営対応……………内山 智裕 45

私の経営と志

岡山市で野菜中心の複合経営……………濱名 伸治 51
—遊撃農家として農業を支える—

農家の気持ち

リンゴ農家の憂い……………木村 徳英 53

農政情報

…………… 54

大日本農会だより…………… 55

編集部から…………… 56

会誌「農業」に関するアンケート

表紙写真説明

香川県オリジナルキウイフルーツの除袋・収穫作業 (香川県善通寺市)

香川県は全国有数のキウイフルーツ産地です。県農業試験場において、「香緑」「さぬきゴールド」「さぬきキウイっこ®」など、糖度が高く、形や色に個性のある多くの県オリジナル品種が育成され、高松市、三豊市、善通寺市等を中心に県内各地で栽培されています（写真は「さぬきエンジェルスイート」、黄色い果肉で種の周りが天使の輪のように赤く色づくのが特徴で、糖度も15度以上と高く、和三盆のような上品な味わいが魅力）。

香川県のキウイフルーツ栽培の特徴は果実の袋掛けで、国内産地で唯一行われています。病害虫による被害の防止、外観品質の向上によって高品質な果実を生産するため、生産者は労力をかけて一つ一つの果実に丁寧に袋を掛けていきます。また、品種ごとの糖度基準に基づき、園地単位に区分収穫されます。

このように大切に育てられたキウイフルーツは10月下旬から3月頃まで順次出荷されます。県では、キウイフルーツに限らず、県オリジナル品種を中心とした果実で、県で認定した生産者が栽培し、糖度など一定の品質基準を満たしたものを「さぬき讚フルーツ」として推奨しています。（写真及び文：香川県農政水産部農業生産流通課 山本 智樹）